

## 令和7年度 第1回徳島県立阿南支援学校 学校運営協議会〈記録〉

### 1 日 時

令和7年7月10日（木）15：30～17：00

### 2 場 所

徳島県立阿南支援学校 会議室

### 3 日 程

15：30～16：30 協議1

16：30～16：55 協議2

16：55～17：00 事務連絡

### 4 内 容

（1）開会

（2）学校長挨拶

（3）自己紹介

（4）役員選出

（5）会長挨拶

（6）協議

協議1 学校の取組について

①学校経営方針について

②学校評価及び学校の取組について

③各委員からの提言等について

協議2 地域連携に関するアイデアについて

（7）第2回学校運営協議会について

（8）閉会

### 5 参加者

学校運営協議会委員7名、教頭1名

小学部長、中学部長、高等部長

### 6 記録

【概要説明】徳島県立阿南支援学校運営協議会要綱の改正について

- ・第2条（目的）の「生徒」の文言を、「児童生徒」に改正する。
- ・第3条（委員）の（2）の「生徒」の文言を、「児童生徒」に改正する。

## 【役員選出】

- ・会長をA氏、副会長を学校長が行うことで、委員の了承を得る。

## 【協議1 学校の取組について】

### ①学校経営方針について（学校長）

- ・資料「学校経営方針」をもとに、学校長が説明した。
- ・1 教育方針、2 教育目標については、例年通りである。
- ・今年度の重点課題に関しては、一番上に「児童生徒が安心して通うことができる学校生活づくり」と入れている。

### ②学校評価及び学校の取組について

- ・資料「令和7年度徳島県立阿南支援学校 学校評価一覧表」を配付し、その内容をスライドにして説明した。小学部・中学部・高等部については各学部長が説明し、各課については、教頭が説明した。

### ③各委員からの提言等について

E委員：中学部の目標に関して、学部アンケートを取るようになっており、これは教員に対してのアンケートと思うが、生徒へのアンケートを検討してみてもいいのではないか。

A委員：生徒に対する配慮は必要であるが、それもよいと思う。

C委員：学校評価に関して、学校側の評価だけでなく、子どもからの評価、保護者からの評価があってもいいのではないか。全ての評価に関しては難しいと思うが、取れる物に関して教職員以外にもアンケートをしてみるといいのでは。他の小学校や中学校では、子ども・保護者・教員にアンケートを実施しているところもある。

今後、学校を客観的に評価する方法を考えていってもいいのではないか。

A委員：アンケートをとってみると、どういう出し方がいいか見えてくる。学生にはアンケートをとっており、公開している。

F委員：保護者にアンケートをとっていただいたらありがたい。しかし、アンケートに対してのフィードバックを求める方もいると思うので、そのあたりをどうするかもある必要がある。

学校のことを知っている人、知らない人で意見が変わることがあったり、色々な意見が出たりするが、その辺をどう捉えるかも考えていかないといけないのかと思う。

M委員：支援学校がよくわかっていない場合があるので、説明するチャンスととらえる。

「知らない」ということに対しては、参観日やPTA総会などで伝えることができる。

アンケートは要望を聞くものではなく、取り組みについての意見を聞くものであるなので、考えてみてもいいのではないか。

B委員：子どもが去年まで高校生だったが、スマホのアプリで保健だよりとか、そういうなかで年2回くらい評価のアンケートをした記憶がある。3択か4択くらいで、“そう思う、そう思わない、どちらでもない”みたいな、選んでも5分かからないくらいの回答だった。

高等部長：人権（いじめ）に関するアンケートを、保護者に年2回実施している。もうひとつは、進路に関するアンケートを、これも年2回とっている。保護者の方の率直な御意見を伺って、またそれを次の就業体験にいかしていくとこのことをしている。就業体験をした上でアンケートをとり、その結果をもとに進路説明会を開催している。

A委員：「アンケートを実施すること（保護者に対して）」を、評価指標の中に入れても良いのではないかな。

高等部長：就業体験でアンケートを、とった結果を進路説明会や就業体験のあり方などに反映させている。アンケートで出た結果をもとに、このようなことを説明しようということは考えている。

校長：ちょっとしたアンケートは、割ととっている。保護者のアンケートの結果の評価も、学校の運営にいかせるかもしれない。各学部でアンケートをとっていましたね。

中学部長：とっていました。

D委員：家庭で話せる児童生徒の場合は、保護者が学校の様子を知ることができるが、子どもが学校で何をしていたか言えない子の場合、連絡帳が命である。連絡帳に書いてあること以外の様子が分からないこともある。情報がない（保護者が十分に知らない）場合に、アンケートにどう答えていいか分からないこともあるかもしれない。もっと、保護者向けに発信が必要ではないかな。

C委員：「分からない」の項目を、アンケートにつけたらいいのでは。評価に保護者が参加するなら、どのような形があるかな。

A委員：①評価指標に、実際にアンケートを取っているものについて記載すること。  
②保護者がアンケートに参加するなら、どういう形や分野で行うかを検討  
してみること。  
この2点を、委員からの提言とする。

## 【協議2：地域連携に関するアイデアについて】

教頭：地域と連携した取組について意見をいただきたい。  
（他校での連携の事例について説明をする。）

F委員：地域連携というと、中学部・高等部という印象があるが、小学部での地域連携はどういうふうになるのか知りたい。

校長：地域の小学校やひわさ分校との交流及び共同学習、居住地校交流が、地域との連携に繋がる。また、地域のお祭りに参加するなども連携になるのではないかな。

小学部長：P21さんのボランティアに、夏祭りやクリスマスに来て参加していただくこともある。

教頭：こちらが出向くだけでなく、地域の方が学校にきてもらって活動してもらえることもありますね。地域の知っている方を御紹介いただくことでもよいかなと思う。

C委員：大野町のお祭りで、西部公園祭りがあある。今年も予定している。大野地域では、定着している。今年は9月28日（日）で、雨天なら10月5日（日）となる。例年、中学部・高等部の生徒が参加しているが、小学部の児童も参加できるのであれば、販売スペースもあるので、商品等を販売するのもいいのではないかな。地域の子どもたちも大勢参加するので、交流できると思う。毎年1,000人くらい来ている。

D委員：学校祭のときに、たくさん売っている作品がある。阿南市の市役所で第1水曜日にマルシェをしている。4時くらいだから、阿南支援のブースが出せたらいいのでは。このようなものをつくっているよと、出したらいいのになといつも感じていました。お披露目の機会がないのであれば、市役所の1階だったりとか、2階の図書館があるところですが、展示場に時々使われたりします。また、手話言語の条例ができた関係からも、フロアに障がいの方のパネルを置いている。その流れで何かできないかな。

高等部長：今年も秋にフジグランで作品展を行う。

教頭：移動の問題がありますね。交通手段が解決できたら。

作品ですが、以前の学校で学校運営協議会の委員さんが紹介で、地域の喫茶店でダムカレーをつくるので、そのお皿を生徒に作ってもらえないかということで、何枚が納めた。

F委員：市役所のマルシェについて、年1、2回に絞ってやったら、PTAの誰か、この時だけ販売の係みたいなのをするのだったらいけるかもしれない。ちょうど、この夕暮れマーケットをしている人を知っている。相談したらいけるかもしれない。

高等部長：作品は、高等部は本当に余らない。大体売れている。

A委員：いろんな人たちが見てくれるようになる形ですが、何かが繋がったり、全然別のところに繋がったりする可能性もあるのかな・・・。

またアイデアを出そうと思いますので、みておいていただけると。ありがとうございました。

## 【第2回学校運営協議会について】

第2回学校運営協議会を10月から12月くらいの間でと考えている。後日連絡する。

## 【閉会】学校長閉会挨拶

本日は短い時間のなかで、たくさんの御意見をいただきました。私も15年前はこの学校に勤務していましたが、地域も学校もずいぶん変わっている部分があります。地域との繋がりという視点は、近年いわれるようになってきて、その分いろいろな機能が求められるようになってきました。教員の働き方改革、ワークライフバランスもいわれている中で

何を優先しているかということも考えながら取り組んでいかなければならない時代になっています。いただいた御意見の全ての実現化は難しいと思いますが、活用させていただけるところもあるかと思います。そのことについて、第2回等で御報告できたらうれしいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。